

当館職員が「笹川科学研究奨励賞」を受賞

— 電子顕微鏡を活用した“触れる科学”と学びの共有基盤の構築 —

平素より当館の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当館職員の小粥隆弘（事業企画グループ サイエンスチームリーダー）が、「科学館における電子顕微鏡を活用した多様な利用者へ向けた教育プログラムの開発」をテーマとした研究により、「笹川科学研究奨励賞（実践系）」を受賞いたしました。なお、本賞の受賞は、静岡県内において初の事例となります。

本研究は、走査型電子顕微鏡（SEM）を活用し、視覚に頼らない新たな科学体験の創出と、学びの共有基盤の構築に取り組んだものです。科学館という社会教育施設における実践的かつ先進的な取り組みとして、その独創性と社会的意義が高く評価されました。

2026年4月17日には受賞研究発表が行われ、研究成果について発表いたしました。



当館では現在、春の特別展「ユニバーサル・ミュージアム」を開催しており、多様な感覚を通じた学びのあり方を提案しています。本受賞で示された取り組みも、こうした方向性と軌を一にするものであり、ゴールデンウィーク期間中のお出かけ先としても、幅広い方にご関心をお寄せいただければ幸いです。

※「笹川科学研究奨励賞」は、日本科学協会が科学研究助成を受けた若手研究者を対象に2007年度に創設した賞で、人文・社会系、数物・工学系、化学系、複合系、海洋関連研究、実践系、生物系の各分野から選出されます。

■ 研究の主な内容

本研究では、走査型電子顕微鏡（SEM）を用いて、以下の2つの取り組みを行いました。

1. SEM 画像の立体化による触知図の作成と企画展の実施

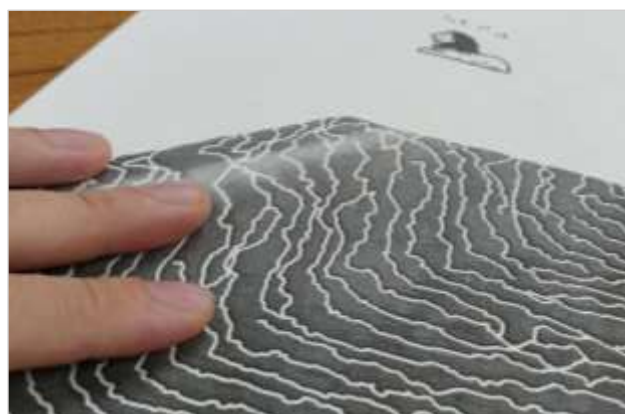
電子顕微鏡で取得した微細構造の画像を立体的に再現し、“触って感じられる図（触知図）”として制作しまし

た。これにより、これまで視覚障害者にとって理解が難しかったミクロの構造を、触覚を通じて認識できるようにしました。

また、浜松市動物園より提供いただいた動物の毛や、はままつフラワーパーク提供の花粉、古橋織布有限会社提供の遠州織物など、地域資源を活用した題材を用いることで、身近な科学への関心を高める展示企画へと展開しました。

さらに、触知図の制作は浜松視覚特別支援学校の特殊印刷機を用いて行い、企画展の展示パネルには NPO 法人六星の協力により点字表記を付すなど、多様な利用者に配慮した情報提供を行いました。

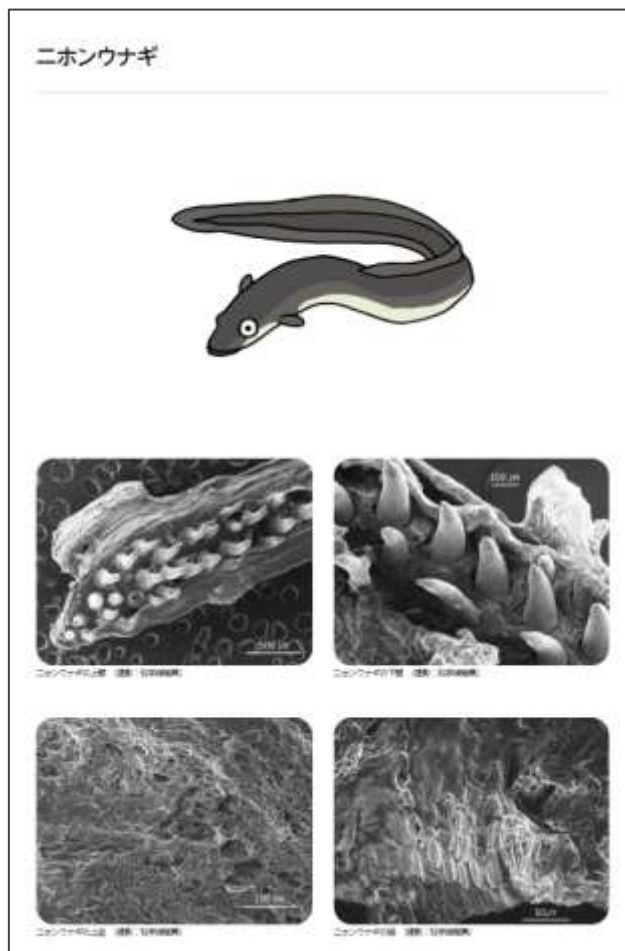
地域の教育機関や企業、福祉団体等と連携することで、多様な視点と専門性を取り入れた、より実践的で包摂的な展示手法の確立につなげました。



2. SEM 画像のデジタルアーカイブの構築

電子顕微鏡で撮影した画像を蓄積し、デジタルアーカイブとして整備しました。地域の子どもたちが自ら撮影した画像も含めたデータベースとすることで、学びの記録と共有を可能にし、継続的な教育活動へとつなげています。

また、本アーカイブは、個人での私的利用や調査・研究等の参考資料として広く閲覧できるよう公開しています。



これらの取り組みを通じて、誰もが科学を楽しみ、安心して学ぶことができる、地域に開かれた科学館の実現を目指しています。

また、本受賞を契機として、これまで開催した展示「触ってみよう遠州織物」を、5月10日まで、自然ゾーンでんけんラボ前にて再展示しています。

ぜひご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

1 名称	笹川科学研究奨励賞 受賞記念 ギャラリー展示「触ってみよう遠州織物」
2 期間	～2026年5月10日(日)
3 会場	浜松科学館 常設展 1F 自然ゾーン (中央区北寺島町 256-3)
4 内容	「笹川科学研究」奨励賞受賞の取り組みの一つとなった、遠州織物を電子顕微鏡で拡大した画像の触知図を織物の実物と合わせて展示。受賞時の賞状も展示します。
5 参加費	無料 ※別途常設展入場料が必要

本件についてのお問い合わせ

浜松科学館 PR チーム

Tel : 053-454-0178 E-mail : info@mirai-ra.jp